

5病棟の生活のひとコマ 35



5病棟の誕生会は、バンド演奏の皆さんが来てくださいました。フォークソングや、おどるポンポコリン、春の小川など沢山の歌を披露してくださいました。懐かしいフォークソングに涙をながす患者さんや、おどるポンポコリンなどでは、腕や足、体全体を使ってリズムを取っている患者さんの姿がみられました。(児童指導員 筒井 皓太)



やまばとギャラリー information 情報コーナー



今月はギャラリーにカラフルな「たまご」が並びました。さてこのたまごからは、何が生まれてくるのでしょうか？ほーら、よく見てください。かわいい男の子や、カエルやエビフライ!? がたまごから顔を出していますよ。

こんな珍しい「たまご」みたことありますか？ぜひ、やまばとギャラリーまで見に来てください。

こんな珍しい「たまご」みたことありますか？ぜひ、やまばとギャラリーまで見に来て

ください。

(児童指導員 筒井 皓太)



異動のごあいさつ

●神経内科部長 佐々木 良元先生



2015年9月に着任し2年7か月間勤めてまいりましたが、2018年3月末をもちまして退職することとなりました。私の主な業務は神経難病入院患者さんの診療でした。10年以上入院することが珍しくない神経難病病棟で、いろいろなことを学びました。この長期療養病棟では、看護師、療養介助員、理学・作業・言語療法士が大きな役割を果たしており、病気を治すのではなく、患者さんに快適に過ごしていただくための医療を行っています。治す医療以外に支える医療があること、病気や障害とつきあいながら、そのときの心身の状態に応じて生活の質を最大限に確保することも医療であることを学びました。また、患者さんの療養生活をよりよいものにするための多職種カンファレンスに参加させていただき、それぞれの職種の専門性を活かした意見を伺い、多職種協働によるチーム医療が重要であることも学びました。新任地でも、患者さんの意思を尊重した、患者さんのところ、人生に寄り添う医療を心がけていきます。

以上入院することが珍しくない神経難病病棟で、いろいろなことを学びました。この長期療養病棟では、看護師、療養介助員、理学・作業・言語療法士が大きな役割を果たしており、病気を治すのではなく、患者さんに快適に過ごしていただくための医療を行っています。治す医療以外に支える医療があること、病気や障害とつきあいながら、そのときの心身の状態に応じて生活の質を最大限に確保することも医療であることを学びました。また、患者さんの療養生活をよりよいものにするための多職種カンファレンスに参加させていただき、それぞれの職種の専門性を活かした意見を伺い、多職種協働によるチーム医療が重要であることも学びました。新任地でも、患者さんの意思を尊重した、患者さんのところ、人生に寄り添う医療を心がけていきます。



医療安全川柳

4月



平成30年度 医療安全推進担当者部会